

救命胴衣を着てね！！



らみまる通信

JAPAN COAST GUARD

海上保安庁
第十管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室

NO. 8号
平成17年12月20日



お正月は、初乗り、初釣り、初潜り？！ 一年の計は元旦にあり・・・。

平成17年も残すところ後数日となりましたが、皆さんにとって今年一年間はどのような年だったでしょうか。毎年のことながら、振り返って見れば自然災害やテロは地球規模で何時発生するとも知れず、また国内における凶悪犯罪は都市、地方を問わず発生しており、自分の身は自分で守るという意識が個人レベルで必要になってきていることを改めて感じます。マリンレジャーでも同じことで、自己の救命策確保と気象の確認など事前準備を確実にし、来る平成18年も安全な海を満喫されることを祈念いたします。

海上保安庁では、年末年始に係わらず職員個々の意識レベルから組織力に至るまで総力をあげてサポートする体制を維持しています。

【初日の出情報】

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/index.html>



海上保安庁では、平成18年の初日の出情報をホームページ上で公開しています。全国各地の日出時刻やその方角を調べることができます。

日本で一番早く初日の出を見られるのは、南鳥島で5時27分、本州では富士山で6時42分、本州の平地では犬吠埼で6時46分です。ちなみに、鹿児島市では7時17分に桜島の右手から日が昇ることとなります。

写真は開聞岳と朝日の様子です。(初日の出ではありません)

【冬こそサーフィン？】

海岸線をドライブすると、この時季の海上のレジャー人口はサーファーが一番だと感じます。離島を含めて南九州の海岸線には多数のスポットが存在する反面、事故の発生も懸念されますので、以下の注意事項を守って安全なサーフィンに心掛けてください。

必ず**気象・海象情報を入手**し、注意報等が発令されている時や悪天候が予想される時は、思い切って中止しましょう！

十分な**ウォーミングアップ**を行きましょう！怪我や大きな事故につながるおそれがあります。

単独でのサーフィンは、絶対に避け、**グループで行動、お互いに監視**しあうようにしましょう！

また、出発前、終了後は家族などに**連絡を確実に**行いましょう！

漂流した場合、浮力と体温の維持が生存に大きく影響するため、適合した**ウエットスーツを着用**！

自分の**技量、体力を十分に自覚**して活動しましょう！

テトラポット等があるような**危険な海域**でのサーフィンは止めましょう！

健康状態及び体調に気を配りましょう！特にサーフィン前の**アルコールは厳禁**です。

いい波には大勢のサーファーが集まるため、サーファー同士の接触事故が考えられます。**ルールを守り**、同じ波にのる者の動きなど常に**周囲の状況に注意**し、十分に余裕をもって回避しましょう！

落雷の可能性のある気象状況では活動を中止し、付近の家屋等に避難しましょう！

流されたボードは非常に危険なので、**ボードをはなさない**ようにしましょう！**漂流時にも楽**であるばかりが**発見が容易**になります。ただし、**ヘリによる救助時には放棄**してもらうこともあります。

愛します！ 守ります！ 日本の海

あなたのそばに、JCG

海のもしもは、118番



女性サーファーあわや漂流ほか

～サーフィンに関する事故事例等～



- ・技量・体力にあった海域を選定しましょう（離岸流は夏冬関係なく存在します）

今月、宮崎の河口付近でサーフィンをしていた女性2名が沖合に流され2名で岸に向かってパドリングを開始しましたが近づけず、一人が「疲れた」と言ったため、1名が単独で岸に向かい到着後、消防に救助を求めました。その女性が再度、沖合いの友人の所に行き、励ましつつ岸を目指してパドリングを再開したところ、なんとか2名とも無事海岸にたどり着いた事例です。

- ・気象・海象には十分注意しましょう

台風が接近中の折、奄美大島で友人とサーフィンをしていた外国人男性が、沖に流され友人の救助も及ばず、一時行方不明となりました。翌日、自力で岩場に泳ぎ着いたまま、一夜を明かした男性を捜索中の鹿児島航空基地のヘリコプターが発見し無事吊上げ救助した事例です。

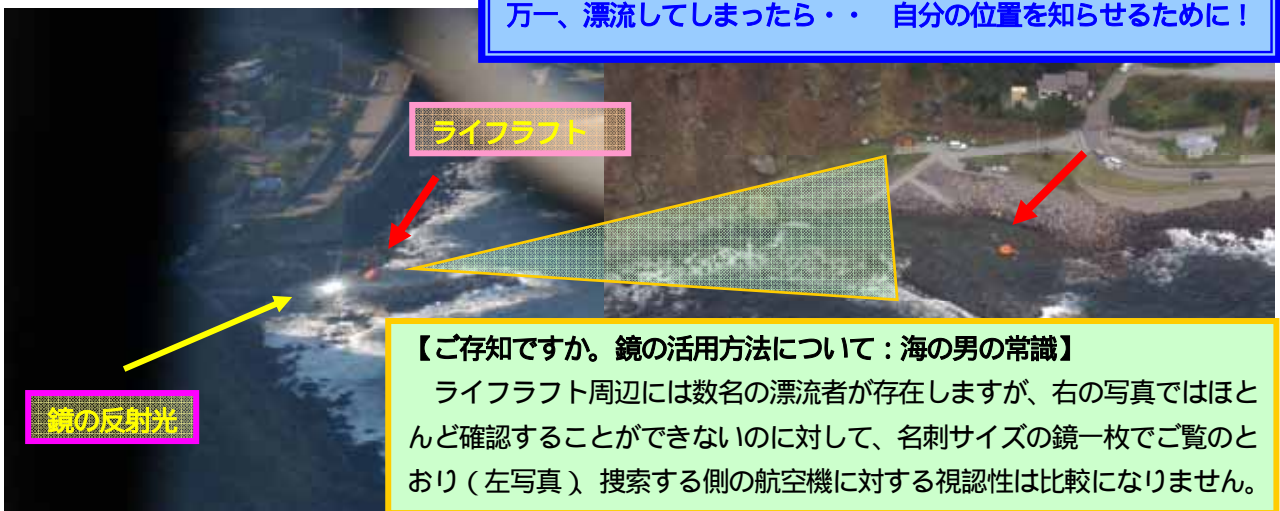


吊上げ救助される男性

- ・海底の地形にも気をつけましょう（自他のためにも周囲に注意力を）

宮崎市の海岸でサーフィンを行っていた男性の姿が見えなくなったことに近くに居た男性が気付き確認したところ、同男性が波打ち際に浮いているのを発見、意識がなかったことから救急車で病院に搬送されました。男性は、頸椎骨折の重体で、集中治療室での治療を受けましたが、残念なことに数日後に亡くなりました。事故当時は波が高く付近の水深が周囲より浅くなっていることなどから、転落した際に海底に激突したことが原因と考えられます。

万一、漂流してしまったら・・・自分の位置を知らせるために！



ライフラフト

鏡の反射光

【ご存知ですか。鏡の活用方法について：海の男の常識】

ライフラフト周辺には数名の漂流者が存在しますが、右の写真ではほとんど確認することができないのに対して、名刺サイズの鏡一枚でご覧のとおり（左写真） 搜索する側の航空機に対する視認性は比較になりません。

私の町、私の母港



今回は、錦江湾の奥、加治木町です。撮影高度は、9500FT（約2850m）、手前から別府川、網掛川が見えます。

【鹿児島航空基地提供 12月上旬撮影】



自己救命策確保
～3つの基本～

必ず着用！ ライフジャケット

必ず持とう！ 携帯電話

もしものときは！ 118番

ライフジャケット着用者の生存率は約8割！